

# 2023年度事業計画

## 公益社団法人スペシャルオリンピックス日本・長野

### I.基本方針、中期活動計画、2023年度活動方針

#### 1. 基本方針

スペシャルオリンピックスの基本理念に基づき、多くのアスリートたちにスポーツトレーニングの場を提供し、スポーツの楽しさを知ってもらい、競技会への参加を通じて、喜びや達成感、より高い目標へのチャレンジの精神を学んでもらう。またファミリーやボランティアとの絆を深め、活動を通じ、地域の人々を巻き込んだ共生社会を実現していく。

#### 2. 中期活動計画

- ① スペシャルオリンピックス日本のコーチ養成システムの充実に対応したコーチ研修制度を推進。あらゆるアスリートに応じたプログラムの提供・計画立案・競技会の運営も出来るコーチの発掘・育成を目指す。
- ② ユニファイドスポーツの普及を推進。ユニファイド（≡インクルージョン）の理念の理解を深め、意義を共有できるように、自治体・教育機関・競技団体・福祉関係団体・企業等と連携し参加者の拡大をはかる。
- ③ 参加比率の低い女性アスリート、6-12歳のジュニアアスリートの発掘。障がい者の高齢化等で運動能力の低いアスリートにも対応した基礎的なプログラムを検討する。
- ④ スペシャルオリンピックス日本・長野の安定した活動のための資金の継続性を図る。
- ⑤地域社会・関連団体との連携を深める。

#### 3. 2023年度活動方針

- ①11月・2024年2月に開催する【第8回SO日本冬季全国大会】（フロア競技・氷上競技）の成功に向けて、努力する。
- ②今回の大会に新しく導入される<フロアボール競技>の普及を目指し、フロアボール連盟とも協力し進めていく。  
2023年4月フロアボール競技会を開催。
- ③全国大会開催の氷上競技においても、近年長野県で減少しているスピードスケート・フィギュアスケートのアスリートの発掘に力を入れ、開催県としての面目を保ちたい。
- ④ 2月【第3回SO日本・長野冬季地区大会】を開催。翌年北海道名寄市で開催される【第8回SO日本冬季全国大会 雪上競技】出場者の選考を行う。
- ⑤ コロナ禍でなかなか実行できなかった一般社団法人長野県ライオンズとの協力を強化。ライオンズの皆様に活動に参加していただき、全国大会に向けての準備を進めていく。
- ⑥ 12月3日（日）サンクスデーを開催。コーチ・ボランティアへの感謝と、県内のSO関係者の親睦を深める。
- ⑦引き続き、活動資金の増強を図る。
- ⑧理事の活動の活発化。

## II. スポーツプログラム活動事業

年間を通じて県内各会場でスポーツプログラムを行う。

スペシャルオリンピックスが進めるユニファイドプログラムの普及に努める。

### ◆夏季競技

陸上競技	長野、軽井沢、松本、上伊那、飯田	*上伊那新規開講予定
バドミントン	長野、小諸	*小諸新規開講予定
バスケットボール	上田、松本、いほく	
ボウリング	長野、上田、軽井沢、佐久	
サッカー	長野	
ゴルフ	軽井沢	
卓球	松本	
テニス	長野、軽井沢	
馬術	軽井沢	
フライングディスク	軽井沢	
ボッチャ(SO ボッチ)	軽井沢	

### ◆冬季競技

アルペンスキー	長野、軽井沢、佐久	
スノーボード	長野	
クロスカントリースキー	長野	
スノーシューイング	軽井沢	
フィギュアスケート	長野	
フロアホッケー	飯田	
フロアボール	長野、飯田	*飯田新規開講予定

### ◆ユニファイド競技

バスケットボール	上田、いほく	
サッカー	長野	
フロアボール	長野、飯田	

## III. 強化練習事業

1. アスリートのスキル向上を目指し、外部団体より指導者を招き、合宿形式で行う。

陸上競技、サッカー、バドミントン、卓球、テニスの5競技を実施予定。

## IV. 競技会・大会開催事業

1. 「2023年第3回スペシャルオリンピックス日本・長野冬季地区大会」開催

本大会では、従来の大会運営に加え、新型コロナウイルス感染症対策を行い、参加者の安全を第一に考え開催する。

なお、本大会は、「2024年第8回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム」の県内予選を兼ねている。

◆雪上4競技(アルペンスキー、スノーボード、クロスカントリースキー、スノーシューイング)

開催日程： 2023年2月11日(土)

開催場所： 菅平パインビークスキー場、菅平サニアパーク

◆フロア1競技（フロアボール）

開催期間： 2023年4月

開催場所： 長野市

## V. 大会遠征事業

### 1. 「2023年スペシャルオリンピックス夏季世界大会・ベルリン」遠征事業

「7人制ユニファイドサッカー」競技に選出された長野チーム（アスリート5名、パートナー5名、コーチ3名）の遠征に向け、スペシャルオリンピックス日本との連携を取りながら、準備を進める。

#### 【大会概要】

開催地： ドイツ連邦共和国（ベルリン）

開催時期：2023年6月17日～24日

参加者： 180の国・地域からアスリート・パートナー7,000名、ボランティア20,000名

日本選手団：アスリート・パートナー 47名

コーチ・役員・医師 29名

実施競技：24競技/日本選手団は9競技（陸上競技、バドミントン、バスケットボール、馬術、サッカー、競泳、卓球、テニス）に派遣（予定）

## VI. 外部大会参加事業

行政・各外郭団体と連携をとり、アスリートが参加できる外部大会には積極的な参加を促す。

1. 第17回佐久市スキー大会 3月
2. 第45回長野市スケート競技大会 3月
3. 軽井沢町民スキー大会 3月
4. 軽井沢国際女子テニス大会 5月
5. ボッチャ競技大会 パラウェーブNAGANOカップ 12月

## VII. ボランティア、指導者育成事業

スペシャルオリンピックス日本の「認定コーチ研修制度」に基づき、オンラインコーチクリニックの受講をボランティアに促すとともに、対面型コーチクリニックを適宜開催する。また、既にスペシャルオリンピックスの認定コーチの資格を持つコーチ向けに行われる「コーチアカデミー」等へのコーチの参加を促し、スキルアップ及び活動の幅を広げる取り組みに積極的に関わっていく。

### 1. コーチクリニック

◆オンラインコーチクリニック 年間開催（ユニファイドスポーツ含む）

◆対面型コーチクリニック

フロアボール 2月予定

### 2. JFFID JAPAN / SO UAE 交流プログラム

一般財団法人日本国際協力センターが主催し、スペシャルオリンピックス日本に協力依頼があった「UAE女子スペシャルオリンピックスユニファイドサッカーチーム」との

交流プログラムへコーチを派遣する。

開催日程：2023年1月22日（日）～1月25日（水）

開催場所：JFA 夢フィールド（千葉県）、神奈川県立スポーツセンター

## VIII. 広報・啓発事業

### 1. 広報

- ◆ニュースレターの発行 年4回発行予定
- ◆ホームページ、Instagramからの情報発信
- ◆ピンバッジの作成（世界大会ベルリンへの派遣の際のアスリート交流等に使用）

### 2. 資金調達・マーケティング

事業活動を円滑に行うための資金調達活動を行う。

### 2. 外部連携

様々なスポーツ団体との連携強化を図ると共に、行政機関、各障がい者団体、支援先等との連携をより一層深める。

## IX. 運営活動事業

オンラインを使用して、ハイブリッド型の会議を実施する。また、スペシャルオリンピックス日本主催の会議（オンライン含む）にも、積極的に参加していく。

1. 理事会 年4回（1月、3月、6月、12月）開催。
2. 定時会員総会 3月開催。
3. コーチ会議 年2回開催。
4. ファミリー委員会 適宜開催。
5. 全国事務局長会議・スポーツプログラム委員長会議、ブロック会議 4月、9月、12月

以上